

経営比較分析表（令和5年度決算）

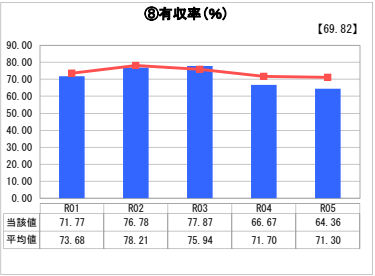
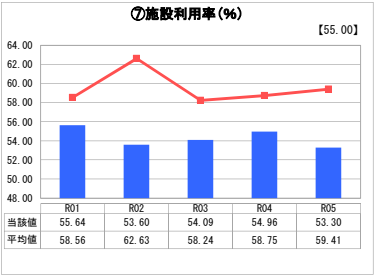
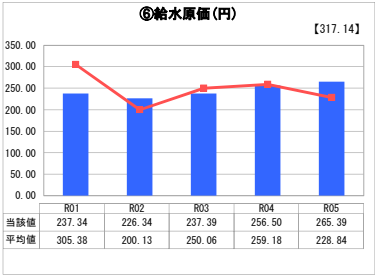
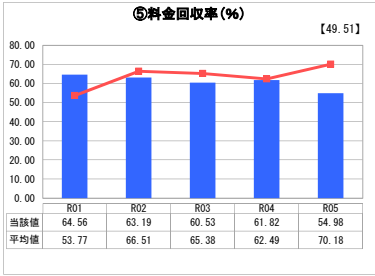
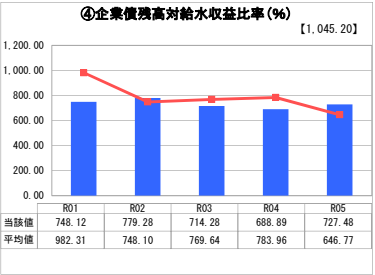
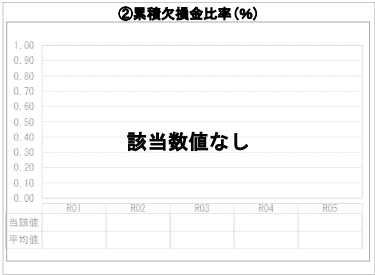
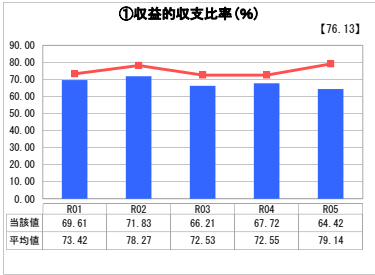
福井県 越前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非通用	水道事業	簡易水道事業	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	51.44	2,860	

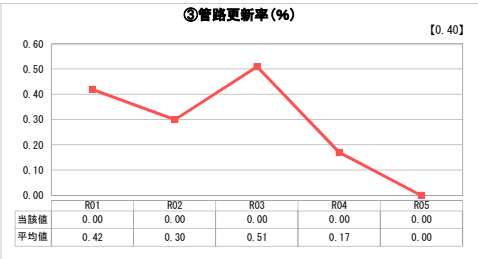
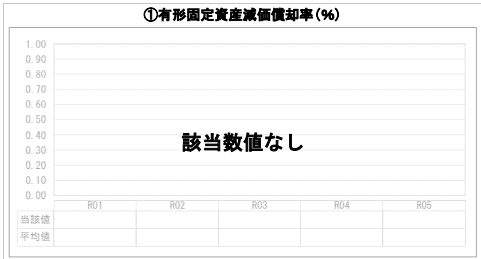
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,100	153.15	131.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,266	7.90	1,299.49

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率については、地方債元利償還金の財源を一般会計負担金に依存しており、令和5年度は6.4%と類似団体平均より1.5%下回っており、⑤料金回収率についても令和2年度より類似団体と平均値を下回っている。

また、④企業債残高対給水収益比率から見ると、当町の簡易水道区域に関する施設整備が早かったことや、区域の一部を平成23年に上水道事業区域へ編入したことで、企業債の残高が減少していたが、令和5年度は施設更新に係る企業債の増により当該値が増加した。

⑥給水原価については、令和3年度から上昇が続いており、令和5年度には類似団体平均を上回った。施設の適切な更新を実施し、経営の健全化を図っていく。

⑦施設利用率については、5.3%～5.5%を推移しているが、類似団体の値を下回っており、施設の更新を図り、効率性を改善する必要がある。

⑧有収率は、年々、下がっており漏水調査結果に基づき管路修繕や管路更新を実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当町では、③管路更新率から見ると、類似団体平均を大きく下回り、過去5年間では、平成28年のみの更新となっている。平成17年の町村合併から、19年が経過しているが、旧4町村の老朽化した施設が多く実在しており、管路についても、布設年度すら完全には把握できない状態である。また、⑧有収率についても低い水準であり、漏水調査結果に基づき管路修繕や管路更新を実施していく必要がある。

全体総括

当町の給水率は9.9%を超えているが、平成17年町村合併から19年が経過した現在、施設の老朽化や人口の減少等を踏まえ、自主財源の確保や効率の良い事業運営が必要とされている。

令和5年度に策定した水道事業ビジョンに基づき、事業区域の再編、老朽化する施設・管路の計画的な更新耐震化及び安当な料金体系の検討を令和6年度に改定する経営戦略により実施していく必要がある。

なお、健全な水道事業の継続のため、令和6年度から公営企業会計へ移行した。